



SFS

FOR SEASON

# CONTENT

---

02	EXPLANATION
03	SPRING
07	SUMMER
11	AUTUMN
15	WINTER
20	Proust effect



## EXPLANATION

あ、あの時の。

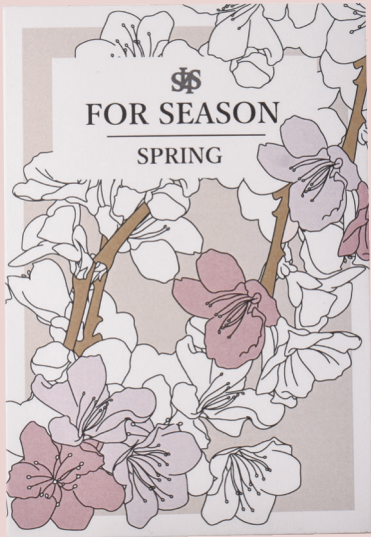
みなさんは香りを感じた時に、ふと過去の出来事や感情が蘇ったことはありませんか？  
このような香りを感じ記憶が蘇る現象を「ブルースト効果」と呼ばれています。

温暖化の原因により四季を感じられなくなっていることから  
日本の良さや文化である四季を香りで感じて頂くために、香水を作成しました。

私たちが生きていく上で同様に变化していく四季の移り変わりを、それぞれの瓶に閉じ込めました。  
様々な香りと共に人生の美しい瞬間の香りを見つけ、愉しんでみませんか。

01

SPRING



# Fragrance Component

TOP

Mandarin, Verbena  
Tangerine, etc

MIDDLE

Iris, Suzuran  
Cyclamen, etc

BASE

Musk, Sakura, etc

## explanation



タンジェリンはマイルドで繊細なシトラスな香りが特徴的で「優しさ」という花言葉を持っています。最後にふわりと心地良く香る甘い芳香が桜の存在感を感じさせます。

02

# BLOOMS SPRING



# Fragrance Component

TOP

Tonga beans  
Vanilla,etc

MIDDLE

Mandarin  
Tonka,etc

BASE

Musk,etc

## explanation

桜餅の香りのようなトンガビーンズを TOP にいれ、春を感じられる香りに近づけました。甘く少し重い春の香りを印象的に感じさせる香りです。



03

SUMMER







# Fragrance Component



## explanation



リフレッシュ・元気を出したい効果であるグレープフルーツ、シトラスを入れることで、夏のイメージである元気で明るい爽やかな香りを感じさせます。

04

# BLOOMS SUMMER



# Fragrance Component

TOP

Lily, Jasmine, etc

MIDDLE

Orange, Citrus, etc

BASE

Musk, Osmanthus, etc

## explanation



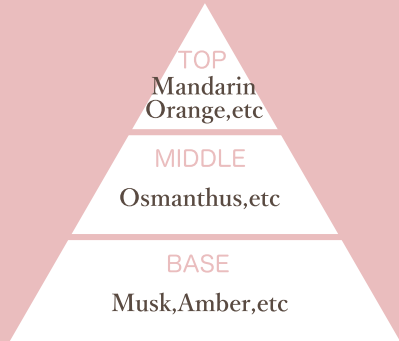
初夏から夏にかけての時期が旬のユリの花をイメージした落ちついた上品な香りです。夏のフレッシュさや、爽やかなすっきりとした香りを感じられます。

05

AUTUMN



# Fragrance Component



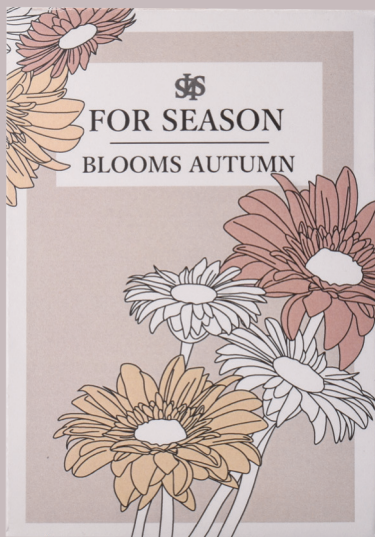
## explanation



秋や冬に感じるオリエンタル系の甘く重い香りのアンバーと、秋の花の金木犀の香りをほのかに感じさせます。落ちついた上品な香りをイメージしました。

06

# BLOOMS AUTUMN



# Fragrance Component

TOP

Grapefruit, etc

MIDDLE

Lavender, etc

BASE

Amber, Sandalwood, etc

## explanation



秋の落ち着きや暖色系をイメージした深みのある甘さを表現しました。ベースのサンダルウッドでリラックス効果を感じさせます。

07

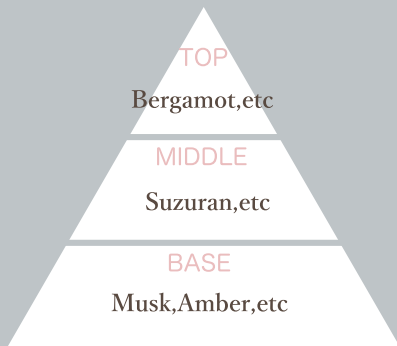
WINTER







# Fragrance Component



## explanation

甘くフルーティで微かに石鹸のような清潔感のある冬に咲く臘梅の花に近づけた香りです。爽やかですっきりとした冬を感じさせます。

08

# BLOOMS WINTER



# Fragrance Component

TOP

Tangerine, etc

MIDDLE

Cyclamen, etc

BASE

Musk, Sandalwood, etc

## explanation



気持ちを落ち着かせる効果のあるサンダルウッドは、  
温かみのある甘い香りが特徴的です。落ち着いた香りで、  
ほんのり甘く上品な冬を感じさせます。



FOR SEASON  
BLOOMS SUMMER

**JS**  
FOR SEASON  
BLOOMS  
SUMMER



## Proust effect


---

特定の香水の匂いを嗅ぐとその香水をつけている人を思い出す、  
バニラの甘い匂いをかぐと子どもの頃にソフトクリームを食べた記憶がよみがえる  
といったように、匂いによって記憶が呼び起こされる経験をしたことはありませんか。

香りを感じた時に、ふと過去の出来事や感情が蘇る現象を「プルースト効果」と呼ばれています。

実際にこの効果は精神的な傷や疲労を癒すのに応用されるほか、認知症や記憶喪失の  
方々の記憶を取り戻す研究も進んでいます。

またこの効果は文豪マルセル・プルーストの小説「失われた時を求めて」における一場面に  
由来し、主人公が紅茶にマドレーヌを浸して香りを嗅ぐ瞬間に幼少期がフラッシュバック  
する描写から「プルースト効果」と名付けられました。



## ブルースト効果が活用されている事例①



### ビジネス

香りはビジネスにおいてますます重要なマーケティング要素となりつつあり、  
お客様に特別な体験を提供しブランディングにおいて  
「この香りを嗅ぐとあの会社を思い出す」という印象を刻むことが増えています。

たとえばホテルやショールーム、移動空間などに独自の香りを取り入れることで、くつろぎや清涼感、  
非日常感などを効果的に演出できます。同様の香りのアロマオイルを販売すれば  
自宅でもその特別な体験を再現でき、長く心に残ります。

このように、香りを軸に多様なビジネス展開を試みる「香りマーケティング」が注目を集めています。

## ブルースト効果が活用されている事例②



### 医療

ブルースト効果を応用し、認知症のケアや改善に役立てようとする試みもあります。

嗅覚刺激で認知症の人たちへの効果を検証した調査によると、嗅覚の能力そのものは加齢により低下するものの、嗅覚に対するイメージ能力は逆に上昇する傾向にあること、また高齢者に特有の「なつかしい匂い」があることがわかってきています。

高齢者のさまざまな感覚が衰える中で、本能的な大脳辺縁系へ直接作用する嗅覚は、なつかしさという情動とともに記憶を呼び覚まし、認知機能を維持・回復させる可能性に満ちています。



FOR SEASON